

2008 年度

科目名		対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 宇都宮 啓吾
演習 I			
授業テーマ 日本語について考える			
授業の概要と目標 現在の我々が使っている日本語についてもう一度考え直すことを目指します。 我々がどのように言葉を使っているのか、自分なりに説明できるようになってください。			
評価方法 平常点とゼミ発表などを総合的に評価します。			
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。		著者	出版社
参考書 特に指定しません。適宜、紹介します。		著者	出版社
授業スケジュール・内容 演習形式をとります。最初の数時間については、教員の側で日本語を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。 みなさんの演習発表については、 1、 問題提起 2、 問題解決の方法 3、 問題解決の手続き 4、 結論 という形で発表を望みますが、まずは、自分の考えを「ことば」にするところから始めてください。失敗も成功への第一歩。とにかく、「考える」ことを習慣づけてください。			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	演習計画の説明・打合せ
事前指導 ①	2	国語学研究法①	語彙（気になる言葉）
	3	国語学研究法②	語彙（現代語）
	4	国語学研究法③	語彙（史的研究）
	5	国語学研究法④	方言（方言語彙）
	6	国語学研究法	談話分析
事前指導 ②	7	発表方法①	演習のテーマ
	8	発表方法②	論の展開・構成
演習	9 ～ 29	具体的発表	学生による個別発表
まとめ	30	本演習の総括	全体の纏めと卒業論文への発展